

大阪府咲洲庁舎低層階（7階～17階）の有効活用に関するサウンディング型市場調査 結果概要

1 調査期間

- ・実施要領の公表 令和6年9月4日（水）
- ・現地見学会の開催 令和6年9月17日（火）・18日（水）
- ・提案書の受付 令和6年10月15日（火）～16日（水）
- ・対話の実施 令和6年10月24日（木）～30日（水）

2 参加者

- ・現地見学会参加者数 9者
- ・提案（対話実施）者数 7者
- ・提案者の業種 ホテル業、不動産業、投資ファンドなど

3 提案の概要

- ・利用形態は、すべての提案においてホテル（レストラン等の付帯施設を含む）の運営であった
- ・利用する（府から借り上げる）フロアは、本調査の対象フロア全体である7階～17階が多く、ホテルとして完成している10階～17階のみとする提案もあった
- ・10階～17階については、居抜きでの利用（一部内装改修等を含む）を前提とする提案が大半であった
- ・ホテル客室への改修工事が中断している7階～9階の利用については、工事を再開し、すべて客室とする提案のほか、客室に加えスパ、フィットネス、会議室、団体客用の食事スペースなどを設ける提案もあった
- ・7階～9階の開業時期について、10階～17階を先行開業した後に改修工事を再開し、段階的に事業展開していく提案が大半であった
- ・客室内の家具、什器、テレビ、ベッド等については、継続利用とする提案が大半であった
- ・想定する事業期間は、最短が10年（状況により延長の可能性あり）、最長が20年であった
- ・公募の開始から応募までの期間としては、2か月～3か月を要するとの意見が大半であった

4 今後の対応

本調査の結果を踏まえ、咲洲庁舎低層階の新たなテナントの公募条件の検討を進める